

TUNING CAR 2014 D3

D3のATSシリーズに「ツーリング・エディション・キット」が新登場!

キャデラックをスポーティ&スタイリッシュにカスタムする「D3 ジャパン」より、キャデラック ATS (2013 年~) に対応した新作エアロキットがリリースされた。ノーマル車高でも精悍なスタイルを実現可能なこのキット、ファン必見だ!

文●田中亨 写真●埜田和久
text by TANAKA Susumu photos by MASUDA Kazuhisa
取材協力●ASDN www.asdn.jp
撮影協力●D3 JAPAN www.d3cadillac.jp
車両協力●シボレー名鉄 http://www.wingauto.co.jp/dealer/gmj



DRESS UP MENU CADILLAC ATS D3 TOURING EDITION

- ベース車両: 2014 年型キャデラック ATS
- ツーリング・フロントリップスポイラー
- ツーリング・サイドスカート
- リアルーフスポイラー
- リアウイング



ベースモデルは 2014 年型キャデラック ATS のディーラー車。装着されているパーツはツーリングリップスポイラー (9 万 4600 円)、ツーリングサイドスカート (14 万 5000 円)、リアルーフスポイラー (6 万 8000 円)、リアウイング (7 万円) の計 4 種類で、セット価格は 33 万円となっている。このキットはノーマル状態の車両に装着しても違和感のないように設計されているが、タイヤ&ホイールを交換し、サスペンションを専用のスポーツツロフリングコイルに交換することで、より精悍なスタイルを実現することも可能となっている。(※表示価格はすべて税抜価格です)

念を掲げているというのは実に面白い。これまで「ASDN」では、キャデラック ATS と SRX クロスオーバーのコンプリートキットを中心に販売していたが、今回新たにラインナップに加わったのは ATS 用の「ツーリング・エディション・キット」。ATS 用としてはすでに「エアロダイナミクス・エディション・キット」が先行発売されていたが、フロントがバンパー交換タイプでチューニングカーライクな「チロダイナミクス・エディション」と異なり、今回の「ツーリング・エディション」の方はフロントがリップタイプとなっており、ディレイラオプシオンのなまり気ないスタイルアップを望むユーザーにおススメとなっている。

ちなみに「ASDN」における「D3」ブランドは、パーツ販売及び車両持ち込みによるカスタムサービスという形での取り扱いとなっており、パーツは「D3」の正規輸入元である「D3 ジャパン」より供給されるが、「ASDN」の中でも GM の正規ディーラーを併設する店舗に関しては、コンプリートカーとしての販売も可能となっている。

アメリカ車のエアロパーツといえば、昔から見た目のインパクトを重視した商品が多いのだが、「D3」に関してはおくまでも性能重視。それでいて見た目も確実にドレスアップが出来るのだから、オーナーにとってはまさしく二石二鳥。ひと粒で二度美味しいエアロパーツといえるだろう。

現代のキャデラックは何れもモデルもノーマルでも十分な走行性能&スタイルを有しているが、他のオーナーとの差別化を図りたい方にとって、「D3」は格好のアイテムといえるだろう。

アメリカンハイパフォーマンスカーのディーラーネットワークである「ASDN」が発売中の「D3」に、キャデラック ATS 用の新作キットが加わることになった。

「D3」というのは日本ではまだそれほど知られていないが、キャデラック専門のパフォーマンスエンジニア(アフターパーツメーカー)として、すでにアメリカでは確固たる地位を築いているプロフェッショナル集団である。

世界最大のアフターパーツメーカーとして有名な「セマ・シヨ」を見ても分かる通り、アメリカには自動車をチューニング&カスタムするメーカーが無数に存在するが、「D3」が他のパフォーマンス系メーカーと一線を画すのは、同社のユニークな車両製作理念にある。その理念とは「エンジンパワーだけで素晴らしいクルマを作ることはできない」というもので、同社が重視しているのは「パフォーマンスのバランス」であり「現代的なテクノロジーやデザイン」なのである。

我々日本人がアメリカのチューニングと聞いてすぐに思い浮かべるのは、大排気量 V8 エンジンにプロワール(スーパーチャージャー)や NOS (ナイトラス) を搭載した超ド級のパワーを誇るモンスターマシンであるが、「D3」というメーカーは徒にパワーのみを追求するチューニングを由としない。

「D3」に在籍する開発スタッフの多くは、レースフィールドを中心とするモータースポーツの世界で修行を積んだ人々であり、また、「D3」の製作したパーツは世界中のレースで使用されているのだが、そんな同社がパワー至上主義的な考えを否定するような理